



# 市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 〇秘書課 ☎36-7117

## 今月のテーマ 平成 31 年度当初予算の編成方針について

今月は、平成 31 年度当初予算の概要と、その中から市民生活に直結する新規事業の一部をご報告いたします。

一般会計予算額は、426 億 1,300 万円と過去最大規模になりました。これは、今後の島田市の発展のために必要不可欠な未来への投資としてのプロジェクトに重点配分した「ネクストチャレンジ予算」となっているためです。私が市長に就任して以来、市債残高を減らし、基金を積み立て、健全な財政基盤を構築するため、10 年先まで見通した財政計画を立ててまいりました。そして、第二次島田市総合計画を着実に推進するために準備をして編成した予算であります。具体的には、島田金谷インターチェンジ周辺開発事業（18 億 1,734 万円）、新病院建設事業（40 億 8,130 万円）など、本市の未来を担うリーディングプロジェクトや、島田第四小学校改築事業（9 億 9,900 万円）、市内普通教室へのエアコン設置といった教育環境の充実が大きな事業となっています。



今年の「文字」は「進」  
将来のよにむくいるよさん  
426 億 1,300 万円

新市民病院には、最新の設備や医療機器が整備されますので、医師や看護師の確保に好条件が整いますし、市民の皆さんにとっても今まで以上に信頼できる病院となります。また、第四小学校改築事業は、次世代を担う子どもたちに充実した環境で学んでもらうための投資になります。人口減少・超高齢化社会に対応し、活力あるまちを創る施策を着実に推進するために「未来への投資」と

して編成した予算であることをご理解いただきたいと思います。

市民生活に直結する新規事業では、国保特定健診と後期高齢者健診の基本・追加・詳細項目に掛かる自己負担を無償化し、「特定健診」の受診率を上げることで、生活習慣病の発症予防につなげていきます。また、認知症高齢者などの財産や権利を保護するため、「成年後見支援センター」を設置し、市民後見人の育成や活動支援に取り組みます。

子育て施策の更なる充実では、出産や子育てに始まり、家庭内の問題に至るまで対話を重ねながらあらゆる相談に寄り添うため、母子手帳に担当保健師名と連絡先のシールを貼り、妊娠から就学までずっと同じ保健師が担当する「島田版ネウボラ」を導入します。「ネウボラ」は、フィンランドで成果を上げている制度であり、これまで以上に気軽に相談しやすい関係を構築して、安心して出産・子育てできる支援体制を提供してまいります。また、小規模保育所 2 カ所(旧市内と初倉地区)を誘致いたします。

地域経済の分野では、中心市街地にある空き店舗等を活用して開業する人に改装費を助成する「遊休不動産リノベーション応援事業」を立ち上げ、まちのにぎわい創出・活性化を図ってまいります。また、2022 年度の完成を目指す市役所新庁舎の基本設計にも着手します。

当初予算について、詳しくは、市ホームページや広報しまだ 4 月号でご確認ください。また、「移動市長室」でもお話しさせていただきます。5 人以上集まればどこでも伺いますので、秘書課までお問い合わせください。

## みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などをご紹介します。

ボランティア団体「島田点訳奉仕会」では、メンバー 13 人で広報しまだや社会福祉協議会発行の「みんなのふくしだより」などを点訳・校正・印刷作業を分担して行い、視覚障害者に提供しています。

このたび、(公財) 車両競技公益資金記念財団より、高齢者、障害者などの支援を目的とするボランティア活動に対する助成を受け「点字両面同時プリンタ」1 台を購入しました。また(公財) 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団の「第 56 回

愛の都市訪問」からは、「点字両面同時プリンタ・プロッタ」1 台が寄贈されました。

老朽化したプリンタが更新され、これからも視覚に障害のある人に地域のニュースを知ってもらう手助けができれば幸いです。

(島田点訳奉仕会 安井すゞ子さん)

